

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)					
I-2-(1)-② 大学などの教育研究機能の 充実	1	④ ⑨	公立大学法人北九州市立大学運営事業	総務課	企画調整局総務課	公立大学法人の設立団体として、地方独立行政法人法第42条に基づき、業務運営に必要な経費を交付し、法人の業務運営の健全性を確保する。	公立大学法人北九州市立大学評価委員会における各事業年度に係る業務に対する評価	目標	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (毎年度)	2,667,912	3,144,000	2,943,856	13,200	順調	令和5年度に係る公立大学法人北九州市立大学評価委員の評価結果は「A（計画どおり）」の評価を得ており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 公立大学法人北九州市立大学評価委員の評価について、計画どおりとの評価を得ているため、「順調」と判断。 【課題】 引き続き、大学の業務運営の健全性を確保するため、大学のニーズに応じた支援に努めていく必要がある。
								実績	A (計画どおり)	A (計画どおり)									
								達成率	—	—									
							目標	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (R10年度)									
実績	A (計画どおり)	—																	
達成率	—	—																	
I-2-(1)-④ シンクタンクを活用した調査・研究機能の強化	2	④ ⑨	公立大学法人北九州市立大学運営事業	総務課	企画調整局総務課	北九州市立大学地域戦略研究所での地域研究プロジェクト、受託調査を通じて、地域研究の高度化を推進する。	公立大学法人北九州市立大学評価委員会における各事業年度に係る業務に対する評価	目標	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (毎年度)	2,667,912	3,144,000	2,943,856	13,200	順調	令和5年度に係る公立大学法人北九州市立大学評価委員の評価結果は「A（計画どおり）」の評価を得ており、「順調」と判断。	大変順調	【評価理由】 アジア成長研究所においては、研究成果が著名な雑誌に掲載されるなど国内外での評価を受けている。 また、公立大学法人北九州市立大学の評価について、計画どおりとの評価を得ている。 以上のことから「大変順調」と判断。 【課題】 アジア成長研究所においては、「国際水準の知的基盤の強化」を維持しながら市のシンクタンクとしての機能を強化し、地域のニーズを踏まえ、「地域への知的貢献」につながる活動を引き続き推進していく必要がある。 また、市は北九州市立大学に対して、引き続き地域研究の高度化を推進するため、大学のニーズに応じた支援に努
								実績	A (計画どおり)	A (計画どおり)									
								達成率	—	—									
							目標	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (R10年度)									
実績	A (計画どおり)	—																	
達成率	—	—																	

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題						
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)	決算額 (千円)				
3		④ ⑨ ⑰	(公財) アジ ア成長研究所 補助金	国際 政策 課	企画 調整 局 国際 政策 課	地元貢献を重視 した日本を代表す るアジア研究機関 を実現するため、 地域への知的貢献 と国際水準の知的 基盤の強化を目的 とする活動を行う (公財) アジア成 長研究所へ補助金 を交付する。	著名な学術雑誌 への論文掲載数	目標	5	本	5	本	5本 (毎年 度)	140,000	140,000	140,000	4,650	大変 順調	市民・企業・行政向け講座 を開催し、調査研究プロジェ クトなどの報告書を多く作成 するなど、地域貢献に持続的 に取り組んだ。 また、著名な学術雑誌への 論文掲載数が目標を達成した ほか、令和4年度より多い件数 の外部資金を獲得した。 このように、地域をテーマ とした研究活動と国際水準の 研究活動を両立したことか ら、「大変順調」と判断。	めていく必要がある。					
								実績	5	本	5	本													
達成率	100.0	%	100.0	%																					
						科学研究費を含 む外部資金獲得 数	目標	6	件	6	件	6件 (毎年 度)													
							実績	7	件	10	件														
達成率	116.7	%	166.7	%																					
I-2- (2)-③ アジア との架 け橋と なる人 材の育 成	4	④ ⑨	公立大学法人 北九州市立大 学運営事業	総務 課	企画 調整 局 総務 課	公立大学法人の 設立団体として、 地方独立行政法人 法第42条に基づ き、業務運営に必 要な経費を交付し、 法人の業務運営 の健全性を確保 する。	公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る各事業年度に 係る業務に対す る評価	目標	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (毎年 度)	2,667,912	3,144,000	2,943,856	13,200	順調	令和5年度に係る公立大学法 人北九州市立大学評価委員の 評価結果は「A（計画どお り）」の評価を得ており、 「順調」と判断。	順調	【評価理由】 公立大学法人北九州市立大 学評価委員の評価について、 計画どおりとの評価を得てい るため、「順調」と判断。 【課題】 引き続き、大学の業務運営 の健全性を確保するため、大 学のニーズに応じた支援に努 めていく必要がある。						
								実績	A (計画どお り)	A (計画どお り)															
								達成率	—	—															
													公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る中期目標期間 に係る業務に対 する評価	目標	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (R10年 度)								
														実績	A (計画どお り)	—									
														達成率	—	—									

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題								
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）							
II-3-(3)-① 多文化共生社会の実現に向けた体制の構築	5	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の推進	国際政策課	企画調整局国際政策課	外国人市民が安心して暮らすことができる多文化共生のまちづくりを推進するため、外国人市民が抱える生活上の諸問題や支援に対するニーズの把握を行う。	市民の「多文化共生」という言葉の認知度	51.8% (H29年度)	目標	61.0 %	61.0 %	62% (R6年度)	42,054	43,921	43,751	3,075	順調	外国人市民の意見を市政に反映する多文化共生ディスカッションを活用して、外国人からの要望や困りごとなど様々なニーズを把握。 また、「北九州市における多文化共生の現状」調査として外国人市民へのアンケート調査実施や、「留学生実態調査（3年に一度実施）」として、市内大学・専門学校に通う留学生へのアンケート調査を実施。外国人市民の課題・現状の把握に努めていることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 外国人市民の日常生活の困りごとなどに真摯に対応しており、多文化共生のまちづくりを行っていることから「順調」と判断。 【課題】 日本人市民と外国人市民が“顔の見える関係”を築くため、引き続き地域における取組が課題となる。							
								達成率	99.3 %	97.5 %																	
II-3-(3)-② 外国人市民の生活環境の充実	6	④ ⑩ ⑰	多文化共生ワンストップインフォメーションセンター運営事業	国際政策課	企画調整局国際政策課	外国人市民が安心して生活できるための情報提供や相談に多言語で一元的に対応する「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の運営を行う。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	80%以上 (R6年度)	24,715	24,715	24,715	2,325	順調	電話やオンラインを含めた相談対応や、関係機関との連携により外国人市民の困りごとを解決まで伴走して対応するなど、外国人市民の生活環境の向上に向けた取組を実施していることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 多文化共生社会の実現のため、一元的相談窓口における伴走型支援など、外国人市民が安心して生活できる環境構築に努めていることから「順調」と判断。 【課題】 引き続き高いレベルでの相談体制の維持に努めるとともに、相談窓口においては、外国人市民の認知向上が必要。							
								達成率	—	—																	
II-3-(3)-② 外国人市民の生活環境の充実	7	④ ⑩ ⑰	多文化共生の推進	国際政策課	企画調整局国際政策課	日本語の不得手な外国人市民へのサポートとして、行政機関や医療機関（健康診査）に通訳ボランティアを派遣するとともに、災害時通訳も含めた通訳スタッフのスキル向上を図る。 また、多言語等でわかりやすい生活情報の提供をすることにより、外国人市民の安全・安心な生活環境の整備を推進する。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	80%以上 (R6年度)	42,054	43,921	43,751	3,075	順調	現地への派遣が難しい場合に、電話・メールなどを用いた通訳対応を継続するなど、柔軟な対応を実施していることから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 多文化共生社会の実現のため、一元的相談窓口における伴走型支援など、外国人市民が安心して生活できる環境構築に努めていることから「順調」と判断。 【課題】 引き続き高いレベルでの相談体制の維持に努めるとともに、相談窓口においては、外国人市民の認知向上が必要。							
								達成率	—	—																	

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）			
	8	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生ワ ンストップイ ンフォメー ションセン ター運営事業	国際 政策 課	企画 調整 局国 際政 策課	外国人市民が安 心して生活でき るための情報提供 や相談に多言語で 元的に対応する 「北九州市多文化 共生ワンストップ インフォメーショ ンセンター」の運 営を行う。	外国人市民の生 活環境の向上 （多文化共生の 現状調査で暮ら しやすいと回 答）	79.7% (H26年 度)	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	単年度目標 設定なし	80%以 上 (R6年 度)	24,715	24,715	24,715	2,325	順調	電話やオンラインを含めた 相談対応や、関係機関との連 携により外国人市民の困りご とを解決まで伴走して対応す るなど、外国人市民の生活環 境の向上に向けた取組を実施 していることから、「順調」 と判断。				
II-3- (3)-③ 市民の 国際理 解の推 進	9	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の 推進	国際 政策 課	企画 調整 局国 際政 策課	日本人市民に対 して、多文化共生 に関する意識啓発 や国際交流の機会 や場の提供を行う ことで、外国人を 受け入れる地域づ くりを目指すこと も、すべての市民 が安心して暮らし 、自己の能力を 発揮できる「多文 化共生先進都市」 としてのまちづく りを推進する。	市民の「多文化 共生」という言 葉の認知度	51.8% (H29年 度)	目標 61.0 %	実績 60.6 %	達成率 99.3 %	61.0 %	61.0 %	62% (R6年 度)	42,054	43,921	43,751	3,075	順調	多文化共生の意識啓発に関 する事業の実施、協力とし て、イベントの後援・共催を 年間23件行うなど、多文化共 生のまちづくりにつながる意 識啓発を行っているため、 「順調」と判断。	順調	【評価理由】 様々な後援・共催イベント により若い世代の外国人市民 と日本人市民の交流が生まれ るなど、多文化共生のまちづ くりにつながる事業を行って いることから、「順調」と判 断。 【課題】 日本人市民と外国人市民が “顔の見える関係”を築くた め、引き続き地域における取 組が課題となる。	
III-1- (1)-② 定住促 進や地 域活性 化のた めの環 境づく り	10	⑧ ⑪	複業・兼業に よる関係人口 づくり事業～ 北九州市と首 都圏を結ぶ人 材マッチング ～	東京 事務 所	企画 調整 局東 京事 務所	KitaQフェス等 を通じて得た首都 圏の関係人口（Ki taQサポーター等） を本市への移住・ 就職に結びつける ため、市内の仕事 をテレワーク等 により複業・兼業 する仕組みを構築 する。 加えて、本市の 暮らしや食等を体 験してもらうワー クショップを実施 する。	複業・兼業の マッチング件数	0件 (R2年 度)	目標 20 件	実績 13 件	達成率 65.0 %	30 件	31 件	103.3 %	累計60 件 (R5年 度)	7,149	9,000	7,677	20,700	大変 順調	3指標全てにおいて目標を上 回ったため、「大変順調」と 判断。	大変 順調	【評価理由】 3指標全てにおいて目標を上 回ったため、「大変順調」と 判断。 【課題】 KitaQサポーターがさらに 本市に愛着を持ち、より深い 関係性を構築していく事が望 まれる。
						KitaQサポー ター登録者数	2,032人 (R1年 度)	目標 2,900 人	実績 3,746 人	達成率 129.2 %	3,100 人	4,573 人	147.5 %	登録者 数計 3,100人 (R5年 度)									
						東京事務所にお ける新規移住相 談者数	149人 (R1年 度)	目標 200 人	実績 290 人	達成率 145.0 %	200 人	334 人	167.0 %	新規移 住相 談者 数200 人 (毎年 度)									

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
Ⅲ-2-(1)-① 近代化遺産などの文化財の保存・継承	11	①	世界遺産維持活用保全事業	総務課	企画調整局総務課	国や関係自治体、所有者等との連携のもと、遺産価値の保全につとめる。	登録資産の保全	現状把握のための調査継続	目標	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成	ユネスコへの報告書作成（毎年度）	26,013	26,245	26,175	5,800	大変順調	ユネスコへの報告書提出や「まつり起業祭」「まつり八幡東」等のイベントでのPRを通じて、国や関係自治体、所有者と連携して世界遺産の構成資産とその価値の保全を図ることができたため、「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 バスツアーの参加者が目標を下回ったが、国や関係自治体等と連携して世界遺産の保全に努め、世界遺産の理解促進に関する事業の目標を達成していることから、「順調」と判断。 【課題】 バスツアーに関し、構成資産の保全を目的として見学先の旧本事務所の受入れ人数が制限されているため、参加者数を伸ばすことが難しい。
								達成率	—	—	目標									
Ⅲ-2-(1)-① 近代化遺産などの文化財の保存・継承	12	①	世界遺産集客にぎわい創造事業	総務課	企画調整局総務課	旧本事務所見学バスツアーを実施するとともに、バスツアーにおけるガイドの充実を図る。	バスツアーの参加者数 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	64人	目標	180 人	120 人	120人（R5年度）	386	1,280	969	5,800	やや遅れ	目標どおりバスツアーを4便実施し、ガイドの育成を図ることができたが、バスツアーの参加者数が目標を下回ったため、「やや遅れ」と判断。	大変順調	【評価理由】 目標を大幅に超えるKitaQサポーターを獲得することができ、「ふるさと寄附金促進事業」についても、返礼品メニュー数の大幅な増加に加え、寄附件数及び寄附額ともに目標（前年度比増）を超えているため、「大変順調」と判断。 【課題】 KitaQサポーターが、さらに本市に愛着を持ち、より深い関係性を構築していく事が望まれる。 「ふるさと寄附金促進事業」については、返礼品メニューの開拓に留まらず、本市に愛着を持ち、継続的に応援してくれるような方が増えるように、発信方法の工夫にも取り組んでいく必要がある。
								実績	0 人	58 人	0.0 %									
Ⅳ-4-(2)-② 北九州を応援する人のネットワークによる情報発信	13	⑧ ①	首都圏応援ネットワーク拡大事業	東京事務所	企画調整局東京事務所	首都圏において新たなネットワーク構築のために、サポーターの組織化を進める。さらに北九州市ゆかりの店舗等のネットワーク構築により、民間と連携した情報発信拠点の拡大を図る。これにより、首都圏での北九州市の認知度向上や北九州ファン層の拡大、人・店舗・企業のつながりを作る。	KitaQサポーター登録者数	2,032人（R1年度）	目標	2,900 人	3,100 人	登録者数計 3,100人（R5年度）	2,619	3,645	3,178	4,900	大変順調	【評価理由】 目標を大幅に超えたため、「大変順調」と判断。	大変順調	【評価理由】 目標を大幅に超えるKitaQサポーターを獲得することができ、「ふるさと寄附金促進事業」についても、返礼品メニュー数の大幅な増加に加え、寄附件数及び寄附額ともに目標（前年度比増）を超えているため、「大変順調」と判断。 【課題】 KitaQサポーターが、さらに本市に愛着を持ち、より深い関係性を構築していく事が望まれる。 「ふるさと寄附金促進事業」については、返礼品メニューの開拓に留まらず、本市に愛着を持ち、継続的に応援してくれるような方が増えるように、発信方法の工夫にも取り組んでいく必要がある。
								実績	3,746 人	4,573 人	129.2 %									

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）					
14	③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑪ ⑰	ふるさと寄附 金促進事業	総務 課	企画 調整 局企 画課	「ふるさと北九 州市応援寄附金」 についてPRし、寄 附件数及び寄附金 額の増加を図る。 また、寄附金の 使い道を寄附者が 選択できる仕組み と、一定額以上の 寄附者に対する地 元特産品等の贈呈 を通じ、本市の魅 力を全国に発信す る。	寄附件数	46件 (H24年 度)	目標 前年度 (96,953 件) 比増	実績 105,718 件	120,987 件	—	1,050,643	1,837,000	1,166,285	21,450	順調	返礼品メニュー数の大幅な 増加に加え、寄附件数及び寄 附額ともに目標（前年度比 増）を超えているため、「順 調」と判断。		る。
						達成率	109.0 %	114.4 %											
						寄附金額	約450万 円 (H24年 度)	目標 前年度比 (181,809万 円) 増	実績 202,806 万円	228,339 万円	—								
						達成率	111.5 %	112.6 %											
V-3- (2)-③ 近代化 遺産な どの文 化財の 活用	15	①	世界遺産維持 活用保全事業	総務 課	企画 調整 局総 務課	国や関係自治 体、所有者等との 連携のもと、遺産 価値の保全につと める。	登録資産の保全	現状把 握のた めの調 査継続	目標 ユネスコへ の報告書作 成	ユネスコへ の報告書作 成	ユネス コへの 報告書 作成 (毎年 度)	26,013	26,245	26,715	5,800	大変 順調	ユネスコへの報告書提出 や、「まつり起業祭」「まつ り八幡東」等のイベントでの PRを通じて、国や関係自治 体、所有者と連携して世界遺 産の構成資産とその価値の保 全を図ることができたため、 「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 バスツアーの参加者数が目 標を下回ったが、国や関係自 治体等と連携して世界遺産の 保全に努めるとともに、世界 遺産の理解促進に関する事業 の目標を達成していることか ら「順調」と判断。 【課題】 バスツアーに関し、構成資 産の保全を目的として見学先 の旧本事務所の受入れ人数が 制限されているため、参加者 数を伸ばすことが難しい。
							実績	ユネスコへ の報告書作 成	ユネスコへ の報告書作 成										
							達成率	—	—										
							目標	2 件	2 件	2件 (毎年 度)									
							実績	2 件	4 件										
							達成率	100.0 %	200.0 %										

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
	16	⑪	世界遺産集客にぎわい創造事業	総務課	企画調整局総務課	旧本事務所見学バスツアーを実施するとともに、バスツアーにおけるガイドの充実を図る。	バスツアーの参加者数 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	64人	目標 180人	実績 0人	達成率 0.0%	120人（R5年度）	386	1,280	969	5,800	やや遅れ	目標どおりバスツアーを4便実施し、ガイドの育成を図ることができたが、バスツアーの参加者数が目標を下回ったため、「やや遅れ」と判断。	
VII-1-(1)-① 「東アジア経済交流推進機構」事業の推進	17	⑧ ⑫	東アジア（環黄海）経済交流推進機構推進事業	国際政策課	企画調整局国際政策課	平成16年11月に設立した「東アジア経済交流推進機構（以下「機構」）」の共同事務局として、会員都市との連絡調整、各会議の窓口調整や開催支援を行うとともに、機構活動の管理運営にあたる。	会員都市間ネットワークの活用による共同プロジェクトの件数 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	4件（H26年度）	目標 2件	実績 1件	達成率 50.0%	2件以上（毎年度）	0	4,371	4,002	11,050	遅れ	令和3年度の機構活動の見直し後、新たに立ち上げた部会活動を2回実施したが、目標を下回ったため、「遅れ」と判断。	遅れ
							東アジア経済交流推進機構における会議数	24件（H26～H30年度）	目標 4件	実績 9件	達成率 225.0%	7件							
VII-1-(1)-② 都市間交流・連携の推進	18	⑬	国際交流事業	国際政策課	企画調整局国際政策課	姉妹・友好都市を中心とした海外諸都市との様々な分野での交流推進を図るため、訪問団の受入れや本市からの訪問団派遣等の交流事業を行う。	姉妹・友好都市を中心とした海外諸都市との交流事業参加者延べ人数	343人（H26年度）	目標 330人	実績 335人	達成率 101.5%	330人以上（毎年度）	4,505	8,401	4,881	14,950	順調	中国・大連市、韓国・仁川市への訪問や各国諸都市からの視察団受け入れなど対面での交流が活発化した。また、各種SNS媒体を活用した情報発信を実施した。多くの事業で指標の実績値が目標を上回ったため、「順調」と判断。 【課題】 都市間交流については、双方に意義のある交流を行っていく必要がある。	順調

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題							
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)	決算額 (千円)					
19	17		ASEAN新都市 間連携促進事 業	国際 政策 課	企画 調整 局 国際 政策 課	成長するアジア の活力を本市に取 り込むため、姉妹 都市であるベトナム・ハイフォン市 やカンボジア・プ ノンペン都市などア セアン諸都市との 交流事業を実施す る。	アセアン諸国な どアジアの新興 国との交流事業 参加者延べ人数 ※中期目標改訂 (R5年度目標設 定時)	—	目標	50	人	50	人	50人 (毎年 度)	1,344	3,561	717	7,955	大 変 順 調	ベトナム・ハイフォン市、 駐日外国公館等への訪問や、 視察団の受け入れなどを通じて、 関係構築を図ったため、 「大変順調」と判断。						
									実績	86	人	82	人									達成率	172.0	%	164.0	%
20	17		海外とのネッ トワーク強化 事業	国際 政策 課	企画 調整 局 国際 政策 課	海外での本市の 知名度向上、及び 海外各都市との ネットワーク強化 を図るため、より 効果的で戦略的な 情報発信、シティ プロモーションを 実施する。	各種SNSによる 発信件数 ※中期目標改訂 (R5年度目標設 定時)	—	目標	288	件	288	件	288件 (R5年 度)	3,676	4,300	1,918	3,075	順 調	各種SNS媒体を活用した情 報発信を実施した。取材から 投稿までの全般的な委託か ら、素材提供のみの委託への 見直しに伴い、令和4年度に比 べて発信件数・閲覧件数が減 少したが、継続的に情報発信 を行ったため、「順調」と判 断。						
									実績	331	件	254	件									達成率	114.9	%	88.2	%
									目標	15,000	件	1,500,000	件									1,500,0 00件 (R5年 度)	—	実績	9,179,061	件
目標	330	人	330	人	330人 以 上 (毎年 度)	4,505	8,401	4,881	14,950	順 調	中国・大連市、韓国・仁川 市への訪問や各国諸都市から の視察団受け入れなど対面 での交流が活発化した。必要 に応じオンラインツールも活用 しながら姉妹・友好都市を中 心に各国諸都市との交流機 会の拡大に努め、交流事業 件数、参加人数ともに目標を 上回ったため「順調」と判 断。	【評価理由】 対面での交流が活発化した ことに加え、オンラインツ ールを活用した交流を実施。交 流事業件数、参加人数ともに 目標数を上回ったため「順 調」と判断。 【課題】 都市間交流については、双 方に意義のある交流を行って いく必要がある。														
実績	335	人	367	人										達成率	101.5	%	111.2	%								
目標	330	人	330	人										達成率	101.5	%	111.2	%								

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
VII-2-(2)-② 海外の 経済事 務所の 活用	22	⑧ ⑫	中国ビジネス サポート拠点 整備事業	国際 政策 課	企画 調整 局国 際政 策課	駐中国北九州市 経済事務所を設 置・運営し、地元 企業のビジネスサ ポートや進出支援 を行うとともに、 本市と中国の都市 とのネットワーク を形成・強化す る。	海外事務所の本 市地域企業への 貢献度	目標	80 %	80 %	80% (R5年 度)	31,968	35,544	34,229	3,075	大変 順調	市内企業及び中国企業の利 用者数ともに引き続き増加し ており、目標を達成したた め、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 市内企業及び中国企業の利 用者数ともに引き続き増加し ており、目標を達成したた め、「大変順調」と判断。 【課題】 市内企業に対し、海外事務 所の存在の優位性を示すこと が重要となる。
								実績	91.2 %	95.7 %									
VII-2-(3)-② 国際都 市にふ さわし いまち づくり	23	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の 推進	国際 政策 課	企画 調整 局国 際政 策課	日本人市民に対 して、多文化共生 に関する意識啓発 や国際交流の機会 や場の提供を行う ことで、外国人を 受け入れる地域づ くりを目指すこと ともに、すべての 市民が安心して暮 らし、自己の能力を 発揮できる「多文 化共生先進都市」 としてのまちづく りを推進する。	市民の「多文化 共生」という言 葉の認知度	目標	61.0 %	61.0 %	62% (R6年 度)	42,054	43,921	43,751	3,075	順調	多文化共生の意識啓発に関 する事業の実施、協力として イベントの後援・共催を年間 23件行うなど、多文化共生の まちづくりにつながる意識啓 発を行っているため、「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 様々な後援・共催イベント により若い世代の外国人市民 と日本人市民の交流が生まれ るなど、多文化共生のまちづ くりにつながる事業を行って いることから「順調」と判 断。 【課題】 日本人市民と外国人市民が “顔の見える関係”を築くた め、引き続き地域における取 組が課題となる。
								実績	51.8% (H29年 度)	60.6 %									
VII-2-(3)-② 国際都 市にふ さわし いまち づくり	24	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生ワ ンストップイ ンフォーメー ションセン ター運営事業	国際 政策 課	企画 調整 局国 際政 策課	外国人市民が安 心して生活でき るための情報提供 や相談に多言語で 一元的に対応す る「北九州市多文 化共生ワンストッ プインフォーメー ションセンター」の運 営を行う。	外国人市民の生 活環境の向上 （多文化共生の 現状調査で暮ら しやすいと回 答）	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	80%以 上 (R6年 度)	24,715	24,715	24,715	2,325	順調	電話やオンラインを含めた 相談対応や、関係機関との連 携により外国人市民の困りご とを解決まで伴走して対応す るなど、外国人市民の生活環 境の向上に向けた取組を実施 していることから、「順調」 と判断。		
								実績	79.7% (H26年 度)	—									

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
VII-3- (1)-① 県内周 辺市町 村との 広域連 携推進	25	⑧ ⑰	北九州都市圏 域連携事業	政策 課	企画 調整 局総 務課	本市を含めた18 市町で形成され た、連携中枢都市 圏「北九州都市圏 域」のブランディ ング、プロモー ション事業を行 う。	北九州都市圏域 内の宿泊者数	177.4万 人 (H27年)	目標	257.2	万人	268.9	万人	292.3万 人 (R7年 度)	1,955	2,820	1,353	17,400	順調	首都圏や福岡都市圏等での イベント開催など、プロモー ションを盛況のうちに終了す ることができたため、「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 Web等を活用した情報発信 や首都圏や福岡都市圏等での イベント開催などプロモー ションを行ったため、「順 調」と判断。 【課題】 連携事業は、即効性のある 事業ではないことを踏まえ、 継続的に周辺市町との連携を 一層強化していく必要があ る。
									実績	209.0	万人	集計中										
									達成率	81.3	%	—										
VII-3- (1)-② 近隣主 要都市 との都 市間連 携	26	⑪ ⑰	広域行政推進 事業	政策 課	企画 調整 局総 務課	下関市との連携 については、県境 を越えて両市の経 済成長・文化交流 に繋がる取組を行 う。 また、福岡市と の連携について は、福岡県内の政 令市同士として共 同施策を推進す る。	本市と下関市両 市の行政間にお ける連携事業数	40事業	目標	40	事業	40	事業	40事業 (毎年 度)	2,291	4,011	2,434	13,300	順調	下関市や福岡市との連携に ついて、担当部門会議を定期 的に行い、連携事業数も目標 を上回ったことから「順調」 と判断。	順調	【評価理由】 下関市や福岡市との連携に ついて、担当部門会議は、定 期的に協議・検討を行ってい ることから「順調」と判断。 【課題】 連携事業は、即効性のある 事業ではないことを踏まえ、 継続的に近隣都市との連携を 一層強化していく必要があ る。
									実績	38	事業	41	事業									
									達成率	95.0	%	102.5	%									
	27	⑧ ⑰	関門連携推進 事業	政策 課	企画 調整 局総 務課	関門地域魅力向 上事業を発展させ た形で、国内外か らの観光客誘致を 促進するため、関 門エリアの魅力を ブラッシュアップ し、受入れ態勢の さらなる強化を図 る事業を実施す る。	関門エリア（下 関市・北九州 市）の観光客・ 宿泊客による観 光消費額	80,400 百万円 (R2 年)	目標	117,469	百万 円	170,254	百万 円	275,821 百万円 (R7年 度)	979	1,320	0	20,750	順調	令和5年5月に、両市長会談 を実施し、新たに10の連携事 業を進めていくことを確認す るなど、各種交流・連携事業 を、積極的に行っていること から、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 下関市や福岡市との連携に ついて、担当部門会議は、定 期的に協議・検討を行ってい ることから「順調」と判断。 【課題】 連携事業は、即効性のある 事業ではないことを踏まえ、 継続的に近隣都市との連携を 一層強化していく必要があ る。
									実績	112,660	百万 円	集計中										
									達成率	95.9	%	—										

令和5年度 行政評価の取組結果（政策局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
VII-3- (2)-② 九州各 地域な どとの 連携	28	⑩ ⑰	広域行政推進 事業	政策 課	企画 調整 局総 務課	【西九州軸連携】 九州新幹線沿線 自治体（鹿児島 市、熊本市、福岡 市）との「四都市 連携」と福岡県内 の政令市同士とし て共同施策を進め る福岡市との「福 北連携」を核とし た広域連携に加え て、鹿児島県南九 州市との都市間交 流の推進により、 九州の一体的な発 展のため、西九州 軸の広域連携の強 化を図る。	連携事業の実施 （西九州軸での 活動）	1回 (H28年 度)	目標	1	回	1	回	1回 (毎年 度)	2,291	4,011	2,434	3,075	大変 順調	各種交流・連携事業を、積 極的に行っていることから、 「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 各種交流・連携事業を、積 極的に行っており、「大変順 調」と判断。 【課題】 今後も交流・連携の枠組み を維持・継続し、九州の各地 域との連携を強化していく必 要がある。
								実績	1	回	1	回										
								達成率	100.0	%	100.0	%										
							連携事業の実施 （東九州軸での 活動）	1回 (H28年 度)	目標	1	回	1	回	1回 (毎年 度)								
								実績	2	回	2	回										
								達成率	200.0	%	200.0	%										
							四都市間にて市 民割引料金を適 用する市施設数 （動物園、美術 館、博物館な ど）	52施設	目標	52	施設	52	施設	52施設 (毎年 度)								
									実績	52	施設	53	回									
									達成率	100.0	%	101.9	%									